法面工

ポリソイル緑化工

NETIS登録番号：KT-210082-A

株式会社丸八土建

〒519-2505　三重県多気郡大台町江馬668-1
TEL 0598-76-0100　FAX 0598-76-0888
URL https://www.maru8doken.co.jp
mail info@maru8doken.co.jp

災害現場事例　施工完了

施工後7カ月

概　要

「ポリソイル緑化工」で使用する土壌コーティング剤（土壌団粒化剤）「ポリソイルα」は、アクリル系重合体樹脂を主成分とする水性の高分子材料である。電気的に中立な非イオン（ノニオン）系であり、pHが中性なので、土壌にも植物にも影響を及ぼさない。有害物質も重金属も含まず、酸性／アルカリ性のどちらの土壌でも使える安全性の高い材料である。地力増進法で指定されているポリビニルアルコールを乳化剤として使用している。

客土吹付機

吹付状況

施　工

「ポリソイルα」と木質系ファイバー、水を混ぜ合わせた基材に種子や肥料などを加えて、客土吹付機で吹き付けるだけである。土壌中の水分と結合する親水性と、法面のコーティング効果ならびに団粒化をもたらす疎水性――この２つの性質を付加することによって、流出しにくく、なおかつ植物の生育に適した状態に土壌を改良する。

使用材料

ポリソイルα

期待される効果

吹付後は、１～３日程度の自然乾燥で固化し、50㎜/h程度の豪雨でも浸食されない強固な植生基盤を形成する。６カ月～１年ほどの長期にわたって安定した状態を維持するので、施工時期を植生の適期に合わせる必要がない。使用する種子の配合を替えることによって、道路法面や護岸法面だけではなく、公園緑化や太陽光発電所などにも幅広く活用できる。ポリソイル緑化工は、約30年前に沖縄の赤土流出被害を止めるために開発され、現在では沖縄の赤土流出防止対策の主流工法となっている。

**沖縄のサンゴ礁を
赤土流出被害から守るために
開発されました。**

健康
製造時・施工時においても周辺住民や作業員の健康に問題はなし

魚介類や農作物
沿岸での魚介類の養殖や、田畑での農作物の栽培でも安全性を確認

動植物
原料は水溶性のため施工後の土壌も動植物への影響なし

農業用地
農業用地に使用した場合でも植物の発芽や成長過程の阻害はなし

有害物質
有害な物質・重金属等を一切含まない